

子ども・若者への意見収集結果

意見収集手法

■ 児童館ヒアリング

実施日	児童館	小学生	中学生	高校生
12/4	連光寺児童館 (5人)	小5(5人)	—	—
12/22	(1人)	—	—	高1(1人)
12/9	桜ヶ丘児童館 (7人)	—	中1(3人)／中2(4人)	—
12/16	落合児童館 (9人)	小5(2人)／小6(1人)	中1(2人)／中2(4人)	—
12/21	一ノ宮児童館 (3人)	—	中1(2人)	高1(1人)
計	4館 (25人)	8人	15人	2人

■ 高校生ヒアリング

【対象】 都立永山高等学校 生徒 (高2：4名、高3：3名、計7名)

【実施日】 12月14日(月)

■ 若者オンラインワークショップ

【対象】 令和2年度中に16歳～39歳になる方

申込者21人⇒当日参加者15人(10代：1人／20代：9人／30代：5人)

【実施日】 12月18日(金) 19時30分～21時30分

意見の活用方法

以下の3つの視点を基軸に、条例案の方向性を確認するために活用する。

(具体的な提案について、条例にそのまま盛り込むことはしない。)

- ① 困り事への支援・・・自分・周囲の困り事への対応について
- ② 活躍・・・できること、やってみたいことについて
- ③ まちづくり参画・・・まちを良くするための意見について

児童館ヒアリングでの主な意見

【テーマ】 ※下記テーマをベースに、幅広く意見を聴取

- ① 自分の得意なこと、好きなことを活かして多摩市でやってみたいこと！
- ② 身近な人が困っているとき、自分が困ったとき、どうする？
- ③ 多摩市を良くするために、自分の意見を言ってみよう！

○ 多摩市でやってみたいこと、多摩市をよくするためのアイデア

- ・ 活動の成果を発表する場（スポーツ大会や音楽発表会など）
（コロナで中止・縮小してしまった。／多くの学校が参加できるものがよい。）
- ・ 多摩市からの情報発信（動画配信など）
（たま広報は見ない。／子どもも大人も楽しめる動画を配信して、再生回数で稼いだお金をコロナ対策や観光事業の原資に。／多摩市が有名になると嬉しい。）
- ・ 多世代交流の機会
（コロナの影響で、子どもに対する高齢者の印象が悪くなっていると感じる。／高齢者と関わる機会がない。／地域活動に参加すると多世代の人と関わる機会ができる。）
- ・ 自分の意見を言える・聞いてもらえる場
（学校以外の場で。／人見知りなので、友達がいれば。）
- ・ イベントの企画・運営への参加
（やったことがないのでやってみたい。／地域活性化のためにやってみたい。／イベントなどにやる気のない同級生が多いのでみんなが楽しんで取り組めるものが良い。）
- ・ 知りたいこと・やってみたいことができる場
（幅広い分野の体験ができるクラブチーム。／普段できないスポーツ体験。）
- ・ 夢を応援できる大人
（具体的なアドバイス。／夢を実現するためにどうしたらよいかを考えさせる。／大人は無難な選択をさせようとして、子どもも無難な選択をする傾向にあると感じる。）
- ・ ハード面の整備
（歩道の凸凹、障がい者が住みやすいまち、階段の手すりやスロープ）
- ・ 地域行事の活性化
（多摩市の自然を生かしたハイキングイベント。／ゴミ拾い。／お祭り。）
- ・ 学校生活の向上
（性別によらずズボン・スカートが選択できる。／給食をおいしくする。）

○ 身近な人が困っているとき

- ・ 積極的に相談にのる。
- ・ 相手から言われた場合、相談にのる。

○ 自分が困った時

- ・ 悩むことがあまりない。覚えていない。
- ・ 気分転換をする。(テレビ、ゲーム、運動、好きなこと)
- ・ 自分一人で考えて、解決する。
- ・ 相談する。(親。／友人。／身近な人。／他の人にばらさないひと。／一番信用できる人。／馬鹿にしない人。／気を遣われたくないので関係性が近すぎない人。)
- ・ 相談することで解決するというよりも、話を聞いてもらうだけで心が落ち着く。
- ・ 相談しない(他の人にばらされたり、「大丈夫だよ」とすぐ言われそうだから)

○ 失敗するかもしれないチャレンジ

- ・ チャレンジしない(家族は失敗してもよいというので、家族の前ではできるが、他の人の前では失敗して印象が悪くなるのが嫌)
- ・ チャレンジする(大事なときは慎重になるが、やりたいことはやるべき。／失敗しても反省を次に活かすことができる。失敗しても周りの人が助けてくれる。)

○ 多摩市の好きなおところ・良くないところ

◎ 人

(やさしいひとが多い。／あまり知らない人とも話せる機会が多い。／児童館では小学校～高校生まで幅広い年代の人と知り合えて仲良くなれる。)

◎ 都市環境

(自然・緑・公園が多い。／静か。／ごみが少なくきれい。／児童館・公園など子どもが遊ぶ場が多い。／都会と田舎の要素が半分ずつある。)

◎ 地域の活動

(多摩市産の酒や耳すまのマップなど、市民がさまざまなことに挑戦している。／季節ごとに祭りを開催しており、若者がまちに出やすい。)

× 都市環境

(自然が多くて虫が多い。／道が凸凹している／坂道が多い。／丘陵地帯でバスが少ないため高齢者にとっては住みにくいのでは。)

× あいさつする人が少ない。

× 街灯が少なく夜暗い道が多い。不審者が出る。

○ 多摩市に住み続けたいか

ほとんどが「わからない・考えたことがない」

(1人暮らしをするなら市外に出てみたい。／大人が楽しめるような出かけたくなる場所が少ない。子育てするには住みやすい街だと思うので一度離れても子育て世代になったら戻るとい選択肢もあるが、高齢になったら坂が少ない地域に住みたい。)

高校生ヒアリングでの主な意見

【テーマ】 ※下記テーマをベースに、幅広く意見を聴取

- ① 自分の得意なこと、好きなことを活かして多摩市でやってみたいこと！
- ② 身近な人が困っているとき、自分が困ったとき、どうする？
- ③ 多摩市を良くするために、自分の意見を言ってみよう！

○ 多摩市でやってみたいこと、多摩市をよくするためのアイデア

・ 多世代交流・若者と高齢者の共存

(若者と高齢者はお互い偏見を持ちやすい。認め合い、支え合うまちにしたい。／年齢別のスポーツ大会。年齢別にすることで体力差による怪我のリスク減。健康づくりにもなる。／若者は高齢者についての知識があれば手助けしやすい。(AEDなど))

・ 学生が気兼ねなく集える場をつくる

(学生はうるさいと高齢者から苦情が出ることがあるが、学生は友人とのコミュニケーションをとっているだけで悪気があるわけではない。うまくすみわけ、共生できるように。)

・ イベントや動画作成など、若者がやりたいことができる機会をつくる

- ・ 大規模なイベントの開催(年1回程度。音楽イベント、のど自慢、ビンゴ大会／防災イベントなど他のイベントと合同で開催して、いろいろな人を集客できるようにする。)
- ・ 自然に触れられるイベント。(現代の子どもは、自然に触れる機会が少ないため、小学生から高校生を対象に多摩市の自然に触れられるイベントを開催。／同様の活動をしている市民もいるが、高齢者が多く後継者がいないので、うまくマッチングできたらよい。)
- ・ イベントの実行委員会への参加。(募集があればやりたい。)
- ・ 若者目線でまちのプロモーションビデオを制作。(多摩市の坂道や通りを案内。)

・ 清掃ボランティア(高校の授業で活動した際に楽しかったので、現在も地元の大学のごみ拾いサークルと一緒に活動を継続。)

・ 夜道・川沿い・公衆トイレが暗い。(不審者と遭遇、石につまずくなどの危険性がある)

・ バスの増便。

○ 自分が悩んでいた場合の対処法

・ まずは自分で考える。考えが煮詰まった場合、親や友人に相談する。

・ 相談しない

(そっとしておいてほしい。／自分で判断すべき悩みについては、仮に自分が相談されたとしても安易に答えられないので、友人に相談することはしない。)

・ 相談する

(親や友人に相談する。／進路については先生に相談する。／悩みの種類によって、相談相手を変える。／友人が相手だと困らせてしまいそうな相談は目上の人に相談するとスッキリする。／話を聞いてもらうことで心が落ち着く。)

○ 身近な人が困っていた時の対処法

- ・ そっとしておく。(自分はそっとしてほしいと思うから。)
- ・ 相手から相談された場合は、一緒に考える。自分からは聞かない。
- ・ 悩みを聞き、女の子は同調することで落ち着かせる。

○ 多摩市の良いところ、良くないところ。(※全員、市外在住者)

- ◎ 自然が多い。
- ◎ 田舎ではないが、自然との共存が出来ている。
- ◎ 街並みが明るく、落ち着きも感じる。
- ◎ 公園が多い。ピクニック。
- ◎ 空気がきれい。
- ◎ 総合防災訓練が大規模で貴重な体験ができたのでぜひ継続してほしい。
- × 坂が多い
- × 商業施設が少ない

○ 多摩市に住んでみたいか

- ・ 老後であれば、多摩市のような落ち着いたまちに住みたいが、働き盛りの時期は都心の方が良い。

若者オンラインワークショップでの主な意見

【テーマ】 「子ども・若者が自分らしく成長・活躍できるまちをつくろう」

グループワーク①多摩市についてどう思う？

(多摩市のいいと思うところ・イマイチだなと思うところは？)

グループワーク②まちや地域を活性化するために、あなたが参加するなら？

(どんな内容なら参加してみたい？どんな条件であれば参加できる？)

○ 多摩市のいいところ

- ・ 計画的な公園
- ・ 緑が多い、環境がよい、景観がよい
- ・ 自然と調和した街並み、うねった道、高低差のある道、いろんな橋、散歩すると面白い
- ・ 勉強するのに適した環境 (図書館が駅近くにある、外で勉強できる場所 (コンセント、Wifi)、本屋が多い)
- ・ サンリオピューロランドやジブリなど、キャラクターコンテンツが豊富
- ・ ドラマの撮影のロケ地
- ・ 歩車分離で安全性が高い
- ・ 保育園が多い
- ・ 住宅価格が安い
- ・ 都市へのアクセス (都心に近いが近すぎない、閑静な住宅街)
- ・ 生活に必要なものが市内でそろう
- ・ 飲食店は充実している
- ・ スポーツ施設が多い
- ・ 今日のようなワークショップがある、挑戦的なまち
- ・ 多摩センターには若い人が増えている

○ イマイチなところ

- ・ 若者・大学生が遊びに行くような場所がない
- ・ サンリオピューロランドなどの若者が集まる場所があるが、周辺におしゃれな店やカフェがなく若者が滞留する場所がない
- ・ 魅力的な店舗がない。(ファッション、食事)
- ・ 人が増えているのに駅前のお店が減っている
- ・ 商店街がシャッター街
- ・ オールドタウン、年配者のまちというイメージが強い
- ・ 発信力が弱い。(多摩市の魅力や、サンリオピューロランドなどの強力なコンテンツを活用できていない。市の広報は若者向けではない。SNSを活用すべき。)
- ・ 若者が活躍できる仕組みが少ない (イベントを企画するための助成金など)
- ・ 多摩市内に働く場所・仕事がない、通勤ラッシュがつらい
- ・ 夜が暗くて道が歩きづらい。安全面が大切。

○ まちや地域を活性化するために、あなたが参加するなら？まちをよくするアイデア

・ **情報発信**

- ・ SNSの拡散力、オンラインを活用（若い人は広報を見ない。）
- ・ 多摩市の取り組みがそもそも面白くない。多摩市の魅力を面白いと思えるように刺激する発信が必要（ジブリやサンリオピューロランド等の文化、固有の歴史、古墳、よこやまの道、リピーターがつくようなイベントなど）
- ・ 若者同士のコミュニティの場を見える化し、発信（Live配信、Webラジオ、Facebook）
- ・ オンラインワークショップもライブ配信など、もっと開いたコミュニティで発信すべき
- ・ 若者が発信できるチャンネル
- ・ 高齢者の情報不足を解消⇒一括して情報が見られるようなしくみ

・ **参加しやすい条件**

- ・ 若者がいれば参加しやすいのでは
- ・ 活動に参加する際、子育て中のワンオペママやイクメンパパも参加できるよう保育付きに。
- ・ 単発ではなく継続して参加していくことで多摩市の良いところがわかるのでは
- ・ オンラインはハードルが下がる

・ **若者の活動への支援**

- ・ 団地の商店街がシャッター街なので、規制緩和等で若者に無償で貸し出し、コミュニティや作品展示の場所に
- ・ 自分を表現するマルシェ、自分の作品を出店・オンラインで販売する場を。自閉症の方が書いた絵の展覧会など。
- ・ 大学生が地域の居酒屋を企画して営業し、地域の人がサポート
- ・ 社会への恩返しや自分自身のバージョンアップのために活動したいが、何から始めたらよいかわからない若者への支援

・ **若者を呼び込む工夫**

- ・ イベント企画の仲間を募る工夫が必要。（ハッシュタグの看板を持って駅前に集まる、スタンプラリーのようにお店を回るなど。）
- ・ 平日に朝ヨガ
- ・ 平日に出会える飲み会。少し寂れた駅前を盛り上げられるようにイベントを

・ **若者への取り組み**

- ・ 将来どうしたらよいか悩む若者・大学生向けに将来ビジョンを描く機会を。多摩市出身のいろんな分野でキャリアを積んでいる人（有名人ではなく普通の人）に自分のキャリアを語ってもらう会
- ・ 選挙に、若者が行きやすくなる仕掛け。

- ・ 子どもへの取り組み
 - ・ 小中学生に自分の夢を考える機会を増やす。偏差値重視で大学を選んで大学に入ってから急に考えるのではなくもっと早くから考えられるように、体験の選択肢がたくさんあるとよい。
 - ・ 大学生が子どもと関わることで、いろいろな体験（学習支援、遊び等）ができるようなプラットフォームがあるとよい。
 - ・ 親が共働きの子ども。⇒シルバー世代に子育て支援

- ・ 多摩市の資源を活かす
 - ・ 多摩市の魅力を活かしたイベント（公園、小山商店などの有名なお店、川、いろは坂、夜景、夕日、「平成狸合戦ぽんぽこ」にちなんだ格好で、よこやまの道を若者限定ハイキング）
 - ・ 多摩市のすごい人を集める、人的資源を活用
 - ・ 多摩市の民間事業者と連携（スポーツジムと組んだイベント、優勝賞品の提供など）

- ・ 世代間交流
 - ・ 世代間交流の機会を増やす。子どもと高齢者が世代を超えて交流できる場や施設。
 - ・ 高齢者とのつながり、マッチングのしくみ
 - ・ 多世代が参加する運動会を市内各所で開催し、参加者の状況に応じてハンデをつけて一緒に参加できるようにする。その準備段階から交流ができる。（土日）